

## 校内選考の仕組み

校内選考とは、付属特別選抜の豊山枠と指定校推薦で実施されるもので、文字通り校内の先生方で選考を実施するものです。

校内選考に先立ち、付属特別選抜の豊山枠(以下豊山枠)と指定校の復習をしましょう。豊山枠は各学部から豊山に与えられる推薦の人数枠です。指定校推薦は各他大学から豊山に与えられる人数枠です。この人数枠については、これまでの合格人数や入学した生徒の大学での実績で変動することがあります。豊山枠、指定校とともに評定条件や取得資格などの条件があります。イメージは下表の通りです。

A学科	2名枠	評定平均3.0以上
B学科	1名枠	評定平均4.0以上、英検2級以上
C学科	5名枠	国語4.0以上

校内選考にエントリーするためには、まず各大学や学部学科の推薦基準を満たす必要があります。故に、『推薦基準を満たした生徒の中での選考』になります。つまりは、いくら校内での序列が良くても基準を満たさなければ、意味がないわけです。

さて、校内で使用される序列は、『総合序列』と呼ばれています。総合序列とは、基礎学力到達度テストや錬成テストの順位を基にして、生活面などの学校生活での普段の様子も判断材料に加えた順位のことで、つまり、いくら成績が良くても、選考の中で、「この生徒は遅刻が多い」などと、選考に悪影響を及ぼすことがあるわけです。

さて、上記の学科の例を用いて実際にシミュレーションしてみましょう。A君からE君まで全て基準を満たしていることとします。

	第1志望	第2志望	第3志望
序列1位A君	A学科	—	—
序列2位B君	B学科	—	—
序列3位C君	B学科	A学科	C学科
序列4位D君	A学科	B学科	C学科
序列5位E君	A学科	—	—

以下、答え合わせをしてみましょう。

	第1志望	第2志望	第3志望
序列1位A君	A学科	—	—
序列2位B君	B学科	—	—
序列3位C君	B学科	A学科	C学科
序列4位D君	A学科	B学科	C学科
序列5位E君	A学科	—	—

通過した志望に○がついています。選考の際は、上の順位から順に第1志望→第3志望で選考していきます。上の順位から第1志望のみ先に選考するわけではありません。以下、解説です。

序列1位A君 第1志望のA学科に通過。この時点でA学科の定員は残り1名になる。

序列2位B君 第1志望のB学科に通過。この時点でB学科の定員は0名になる(定員満了)。

序列3位C君 第1志望のB学科は定員満了のため不通過。第2志望のA学科に通過。この時点でA学科の定員は0名になる(定員満了)。

序列4位D君 第1志望と第2志望の学科には定員満了のため不通過。第3志望のC学科になる。

序列5位E君 第1志望は定員満了のため不通過。

このような流れで選考されていきます。総合序列や評定平均値は高1からの積み重ねですよ。

## R5 進路調査 結果発表

例年通り、全学年で理工学部が1位に！  
文理学部や経済学部はどの学年でも志望者が多くなりました。

高1				
Rank		R05		R04
1	理工	29.9	理工	24.6
2	文理	19.1	文理	17.0
3	経済	16.2	経済	16.3
4	法	7.5	法	13.8
5	芸術	6.1	芸術	6.9

高2				
Rank		R05		R04
1	理工	26.0	理工	25.0
2	文理	19.2	文理	20.3
3	経済	15.6	経済	17.0
4	法	13.1	法	14.0
5	商	10.7	生物資	5.5

高3				
Rank		R05		R04
1	理工	25.8	理工	25.3
2	経済	20.3	経済	16.4
3	文理	15.0	文理	16.4
4	法	12.6	商	11.9
5	商	10.7	法	10.0

高校全学年を対象に、進路調査が実施されました。志望調査だけでなく、「1日の平均学習時間はどのくらいか」ということや「進路の決定時期はいつごろか」といった内容の質問もありました。少しだけかもしませんが、豊山生が日々どのように自分の進路と向き合い、対策を取っているかがわかる資料となりました。

よく言われていることですが、自分の行きたい大学や学部が決まり次第すぐに過去問を調べてみることや、どのような入試形態があるのかなど早めに情報収集し、ライバルに差をつけましょう。



\*\*\*\*\*

## 特進 他大学説明会 報告

6月23日(金)5時間目から7時間目を使って、特進クラス対象の他大学説明会を実施しました。今年は12の大学・大学校にご参加いただき、全ての大学・大学校の説明を対面形式で聴講することができました。このような光景からも、社会全体が徐々にコロナ禍前に戻りつつあることを感じます。

各教室やブースでは、各大学の説明担当の皆様がパンフレットやPowerPointを使用しながら、丁寧に説明してくださっていました。参加した生徒たちにとっては、インターネットの情報だけでは分からないことを知ることができ、各大学への理解を深める有意義な時間になったのではないのでしょうか。



今回の説明会を機に、気になる大学を新たに見つけた人も少なくないと思います。社会全体がコロナ禍前に戻りつつある現在、各大学では、これから夏休みにかけてオープンキャンパス等も予定されています。是非、気になる大学については実際にキャンパスに足を運んでみてください。現地でしか分からないことや感じることでできないことがたくさんあるはずですよ。

後悔のない進路選択をするためにも、まずは自ら行動してみましょう！

# 日大付属推薦・指定校推薦

日大付属推薦は大きく分けて、3つに分かれます。

①基礎学力選抜②付属特別選抜(豊山枠・付属枠)③国公立併願方式です。以下、説明していきます。

## ① 基礎学力選抜

基礎学力到達度テストによる順位を基にします。高2の4月・高3の4月・高3の9月の合計3回のテスト標準化得点によって付属生内での順位が確定し、その順位を把握した上で、第1志望から第3志望までセクションに出すことができます。

## ②-1 付属特別選抜(豊山枠)

総合序列や評定・資格を基にして校内選考を実施します。詳細は前ページにある『校内選考の仕組み』を参照してください。校内選考通過後は、必要書類を提出した後、学部学科の指定する選考(面接・小論文・口頭試問等)を受けます。

## ②-2 付属特別選抜(付属枠)

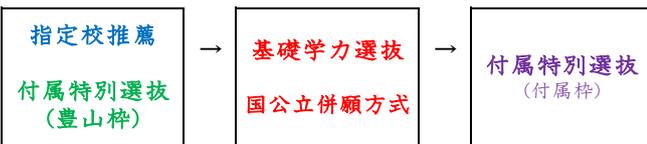
評定・資格を基にします。こちらは校内選考を実施せずに行われます。付属生全体の中で数名が募集され、実施している学部学科も限定されます。応募した者は学部学科の指定する選考(面接・小論文・口頭試問・実技等)を受けます。基礎学力選抜のセクションや付属特別選抜(豊山枠)の校内選考の後に付属全体で実施されます。

## ③ 国公立併願方式

基礎学力到達度テストによる順位や評定・履修科目を基にします。セクションが1度だけ実施され、第1志望から第3志望まで明示することができます。国公立大学の一般選抜を受験する予定の人が対象です。

以上が、日本大学への付属推薦における概要です。他にも追加募集がありますが、年度によって実施の有無が分かれますので記載していません。

## 実施の流れ(簡略版)



続いて、指定校推薦について説明します。指定校推薦とは、大学が本校を指定して、個別に推薦枠を設けている推薦方式です。実際に本校から進学した生徒の大学内での成績等が良好である場合、また進学者や合格者の人数が多い場合でも指定校推薦の対象となります。現在、本校にも多くの指定校推薦をいただいておりますが、毎年、大学・学部・学科・募集人数・推薦条件が変更されます。

指定校推薦の募集枠は、おおむね1つの学科あたり1~2名ほどです。そのため、募集条件に合致している場合でも、募集枠以上の応募がある場合は校内選考をする必要があります。詳細は前ページにある『校内選考の仕組み』を参照してください。校内選考通過後は、必要書類を提出した後、学部学科の指定する選考(面接・小論文・基礎学力検査・口頭試問等)を受けます。そのうち、合格を頂いたら必ず進学してもらいます。そして、大学での学びを大切に、自身の夢の実現へ向けて努力するとともに、引き続き後輩たちにも推薦がもらえるようにしてください。

### 指定校推薦の注意点

#### ① 早い段階から指定校推薦を狙わない

まず自分の学びたいことをはっきりさせ、そのうえで志望校を決めることが肝要です。自分の学びたいことに合致する大学を調べましょう。指定校推薦の大学・学部・学科は毎年変わります。指定校推薦にこだわりすぎて、自分の学びたいことを変更することがないようにしましょう。高校3年次、第一志望の大学・学部・学科が指定校推薦で受験できるなら校内選考に申し込むという心構えが良いでしょう。

#### ② 資格・履修・条件に注意する

評定だけでなく、英語の資格が必要であったり、共通テストを受験することが条件であったり、大学・学部・学科によって出願条件は様々です。



# 高2社会人セミナー



7月13日(木)高2対象「社会人セミナー」が開催されます。今回は13の企業の方々が来校し、講演をさせていただきます。

高2の皆さんは、以前にも同様のイベントを行いました。当時と異なる点は、各自文系・理系や、特進・進学と、コースが決まっていることです。基礎学力到達度テストの結果も届いており、進路について具体的に考えている人も増えていると思います。この社会人セミナーで、「働く」ということを考えたり、社会人として求められる能力について具体的な話を聞いたりして、大学のさらに先にある「就職」ということにもしっかりと目を向けるようにしましょう。

今回来校して下さる方々の講演テーマは次の通りです。

- 劇的に変化する世界において、企業はどのような人材を求めているのか、学生の間に何を学ぶべきか
- 経験こそ、自分の「強み」を発見させてくれる先生
- 好奇心が道を定める！(電子マネーの実現から仮想通貨に想いを寄せて)
- “夢を叶える方法を伝授します”
- 絶対に後悔しない人生を送る三つの法則
- 文章で思いを伝える力
- 正しい仕事に人あつまる
- 営業力と交渉力 AI時代に突入する皆さんへ
- いくつになってもデータを生み出し何かを作る仕事を楽しむ
- 自動運航船の技術開発と国際ルール形成
- 好きこそもの上手なれ
- 夢をかなえる思考法
- 好きな仕事をして、楽しく生きてみたら「広報・宣伝」の仕事をしてました！



\*\*\*\*\*

## 7月の進路行事

- ・ 7月13日(木) 社会人セミナー (高2)
- ・ 7月14日(金) 日本大学学部説明会 (高2・希望者)

※この夏休みはオープンキャンパスに足を運ぶ貴重な機会です。積極的に4~5つの大学に行くようにしましょう！

月
日
一
二
三
四
金
土
日
直

7月13日(木)の高2対象社会人セミナーは、昨年度と同様対面式で行います。前回は講師の方々から皆さんの熱心さについて高評価をいただいております。今回はまた別の社会人の方々です。新しい発見や気づきがあることを期待しています。聴講できる講義は一度きりですので、事前に質問を考えておくなどして、積極的な姿勢で受けてください。

7月14日(金)の高2と他学年の希望者対象日大学部説明会は、オンライン形式で行われ、生徒は自宅からiPadを利用して参加することになります。付属高校向けの説明会になりますので、他では聞けない内容もあると思います。iPadは事前に氏名の表示や顔出しのルールを確認して下さい。学部によって内容は大きく異なりますので、しっかりとメモを取り、必要なことは質問をするようにしてください。

7月22日(土)、23日(日)の2日間で、防衛大学校と防衛医科大学校のオープンキャンパスが行われます。既に申し込みは終了して、予定をしている生徒には自衛隊の広報官の方から直接連絡が来ますので、その際は当日のスケジュールを確認するようにしてください。現地集合・現地解散になります。

上記のように大事な行事が行われています。それぞれが皆さんの大学受験へのステップになっているので、一つひとつの行事にしっかりと取り組んでください。

次回8・9月号は、7月18日(火)発行予定です